

人工知能に関する損害賠償責任制度の経済分析

Economic analysis of liability rule for artificial intelligence

生田 祐介 (Yusuke Ikuta)

近年、人工知能（AI）に代表されるデジタル技術の急速な発展が社会に大きな影響を与えている。このような技術においては、不可欠となる大量のデータをどのように活用・管理するか、また、製品の誤作動やプライバシー漏洩にともなう損害について現状のルールで経済活動に支障がないのかどうかなど、様々な観点から関心が高まっている。こうした関心の下、本研究の取り組みと成果の概要を三点に分けて記載する。

第一に、AIが利用された財・サービスに関する法的課題を、損害賠償責任の観点から整理した。政策の議論が進んでいることから、欧州連合（EU）を対象に調べた。参考文献[1]によると、AIへの規制は、EU加盟国と産業間で一様に導入されるべきではなく、業界別の規制と上手く調和するよう導入されることが望ましい。特に、高リスクAIについては、それが応用される財・サービスの性質や、それが使われる状況に応じて、損害への責任規則を定めるべきであるとのことである。

第二に、AIを動かす要素として顧客データが重要であることに注目し、理論分析を行った。企業のデータ収集は、サービスを供給する費用を削減することができるが、他方で、顧客のプライバシーを侵害して需要の下振れをもたらすことを考慮した。このモデルに損害賠償の責任ルールを取り入れてみたが、明確な答えが得られなかった。そこで、消費者がデータを提供することで個別価格が適用される状況において、プライバシー漏洩により発生する損害の賠償について議論する方向で、問題を再検討している。

第三に、AI利用の実践としての研究も行った。具体的に、ニュース記事のテキストデータを利用することで、景気関連指数の推定を行うというものである。既存の景気関連指数との比較を行うことで、その特徴を明らかにした。この成果は参考文献[2]と[3]で公開されている。

参考文献：

- [1]. Buiten, M. , de Steel, A. and Peitz, M. (2021) “EU liability rules for the age of Artificial Intelligence”, Centre on Regulation in Europe (CERRE).
- [2]. Kazuhiro Seki, Yusuke Ikuta, and Yoichi Matsubayashi. "News-based Business Sentiment and its Properties as an Economic Index", Information Processing & Management (2021).
- [3]. 関和広・生田祐介「経済ニュースによる景況感指数の足元予測」『情報処理学会論文誌ジャーナル』, 62(5), pp1288-1297. 2021.